

エジプト映画の“今”を知る

SYMPOSIUM

Waseda University

エジプト映画の新潮流

『マイクロフォン』(アフマド・アブダッラー監督)上映とともに
(2010年/120分/日本語字幕付)

2016. 11.27 (SUN) 13:00-17:00 (12:30 開場)

早稲田大学 戸山キャンパス 38号館 AV 教室

平成 28 年度科学研究費助成事業 (基盤研究 C)「エジプト映画における『イスラーム』表象の変遷とその分析」・中東映画研究会共同開催

TUFS Cinema : WORKSHOP

Tokyo University of Foreign Studies

エジプト映画の最先端 アフマド・アブダッラー監督を迎えて

2016. 11.29 (TUE) 17:50-20:00 (17:40 開場)

東京外国語大学 研究講義棟 115 教室

科学研究費補助金 新学術領域研究 計画研究 B01「規範とアイデンティティ：社会的紐帯とナショナリズムの間」
および平成 28 年度科学研究費助成事業 (基盤研究 C)「エジプト映画における『イスラーム』表象の変遷とその分析」共同開催

エジプト映画の新潮流『マイクロフォン』上映とともに

2016年11月27日(日) 13:00-17:10 (12:30 開場)

早稲田大学 戸山キャンパス 38号館 AV教室 東京都新宿区戸山1-24-1(地下鉄東京メトロ東西線「早稲田駅」徒歩3分)

入場無料 || 先着順 || 申込不要 || 定員370名 || 使用言語:日本語・英語(日本語通訳有)

[PROGRAM]

13:00 開会の辞・趣旨説明

13:05 第一部:エジプト映画の歴史と現在

—— 勝畑冬実 | 東京外国語大学

—— 藤本高之 | イスラーム映画祭ディレクター

13:25 第二部:映画『マイクロフォン』上映

15:25 休憩

15:35 第三部:解説・質疑応答

—— 大稔哲也 | 早稲田大学

—— アフマド・アブダッラー | 映画監督(日本語通訳:松下由美)

17:05 閉会の辞

*登壇者・プログラムは変更される場合がございます。予めご了承ください。

協力:イスラーム映画祭



[上映作品]

『マイクロフォン』 Microphone

(2010年/120分/日本語字幕)

脚本・監督:アフマド・アブダッラー / 主演:ハーレド・アブナガー

エジプト第二の都市アレクサンドリアを舞台に、「2011年1月25日革命」直前のエジプトの若者の生態を捉え、大きな話題を集めた。ヒップホップ、ロックなど、エジプトの様々な音楽シーンを紹介する作品にもなっている。

トロント国際映画祭、ロンドン国際映画祭出品、カイロ国際映画祭最優秀アラビア語映画賞受賞作品

平成28年度科学研究費助成事業(基盤研究C)「エジプト映画における「イスラーム」表象の変遷とその分析」・中東映画研究会共同開催

[お問い合わせ] 中東映画研究会 (✉ mecinema2014@gmail.com)

TUFS Cinema : WORKSHOP

Tokyo University of Foreign Studies



エジプト映画の最先端 アフマド・アブダッラー監督を迎えて

2016年11月29日(火) 17:50-20:00 (17:40 開場)

東京外国語大学 研究講義棟 115教室 東京都府中市朝日町3-11-1(西武多摩川線「多磨駅」徒歩5分)

入場無料 || 先着順 || 申込不要 || 定員206名 || 使用言語:アラビア語(日本語通訳有)・英語

[PROGRAM]

17:50 趣旨説明—— 勝畑冬実 | 東京外国語大学

17:55 これまでの作品紹介(動画上映)と講演

—— アフマド・アブダッラー | 映画監督

18:30 監督とモデレーターの対話

—— アフマド・アブダッラー | 映画監督

—— 山本薫 | 東京外国語大学

18:50 参加者と監督によるフリーディスカッション

19:50 閉会の辞

*登壇者・プログラムは変更される場合がございます。予めご了承ください。

「ナイル川のハリウッド」とも呼ばれる中東随一の映画大国、エジプトでは、2011年の革命以降、若手監督たちによる意欲的な作品が次々に生み出されています。

今回のワークショップでは、そのようなエジプトの新しい映画潮流を代表する監督の一人、アフマド・アブダッラー氏を招聘し、自らの監督人生とともに、エジプト映画の最新事情をご紹介します。

「映画とは何か」、「作品を作るということ」、「映画と社会」、「映画と政治」といった普遍的なテーマはもとより、エジプトならではの映画制作の困難や、革命後の映画産業の実態など、様々なお話を伺い、討論する予定です。



アフマド・アブダッラー Ahmad Abdalla

1979年生まれ。フィルム編集者として活動した後、カイロ高級地区での若者達の一日を描いた「ヘリオポリス」(2009年)で長編デビュー。2011年1月25日革命前のアレクサンドリアの音楽シーンと若者の生態をとらえた「マイクロフォン」(2010年)、カイロの貧困地区をさまよう脱獄囚の目を通して1月25日革命を描いた「敷物と掛布」(2013年)、女性映画セットデザイナーを主人公にした心理ドラマ「デコール」(2014年)を制作し、現在、エジプトのインディペンデント映画潮流を代表する若手監督として世界から注目されている。

科学研究費補助金 新学術領域研究 計画研究 B01「規範とアイデンティティ:社会的紐帯とナショナリズムの間」
および平成28年度科学研究費助成事業(基盤研究C)「エジプト映画における「イスラーム」表象の変遷とその分析」共同開催

[お問い合わせ] 東京外国語大学 広報マネジメント室 (☎ 042-330-5150 / ✉ soumu-koho@tufs.ac.jp)